

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01ZZ343	人文知コミュニケーション：人文社会科学と自然科学の壁を超える	1	1.0	1 - 5	秋学期	集中		池田 潤, 大澤 良	哲学、歴史、文学、言語学、社会科学、地域研究などの人文社会分野における学術研究の成果をどのようにに社会に伝え、人々の知的好奇心を呼び起こし、当該学問分野の社会的認知度を如何に向上させるか、その考え方、方法、それらを担う人材に求められる必要なスキルなどについて学ぶ機会を提供する。人文社会分野における「学問と社会を結ぶ」ためのスキルを磨くための内容を含む。加えて、現在発展が著しい人文社会分野における最先端機器を駆使して行う研究は多くの学術的成果を生み出しており、その魅力は計り知れない。このような最先端研究に基づく解析法は自然科学分野の最先端技術を活用したのもでもあり、ここに人文社会科学と自然科学の接点があり、分野融合の意義、有用性、重要性を含めた科学の現状を多くの大学院生に紹介するための科目とする意図も企画者側にある。	
01ZZ402	21世紀的中国 —現代中国的多相—	0	2.0	1 - 5	秋AB	金5, 6	1C406	矢澤 真人	巨大な隣国である中国は、1976年の文化大革命の終結以降、経済の改革開放政策の成果により、大きな変貌をとげた。21世紀初頭の今、ますます存在感を増した中華人民共和国の現在の諸相を、第一線の経験を持つ筑波大学OBの講師陣が分析し、学生にとって身近な目線で講じる。中国と日本の関わりを実際の動きの中で捉えていくことを目論む。	中国語で授業。講義は主として中国語で行う。ただし、講義やディスカッションの一部、資料等に日本語を交えることもある。
02DS107	総合文学演習(4A)	2	1.5	1 - 5	春ABC	木6	共同利用棟 A103	青柳 悦子, 加藤 百合, 齋藤 一, 吉原 ゆかり	多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。あわせて研究倫理について理解を深める。	2019年度より4年おき開講。
02DS108	総合文学演習(4B)	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木6	共同利用棟 A103	青柳 悦子, 加藤 百合, 齋藤 一, 吉原 ゆかり	春学期に継続して、多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。あわせて研究倫理について理解を深める。	2019年度より4年おき開講。
02DS117	文学理論研究(4A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	火5	人社 A202	青柳 悦子	自由間接話法に関するさまざまな論文を読み、研究する	2019年度より4年おき開講。
02DS118	文学理論研究(4B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火5	人社 A202	青柳 悦子	受講者とともに演習形式で小説の叙述分析をおこなう	2019年度より4年おき開講。
02DS137	文学文化論研究(4A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	月3	1B410	齋藤 一	欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	中間評価論文の執筆を目指している学生向けの授業とする。2019年度より4年おき開講。
02DS138	文学文化論研究(4B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	月3	1B410	齋藤 一	欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	中間評価論文の執筆を目指している学生向けの授業とする。2019年度より4年おき開講。
02DS147	文学文化論演習(4A)	2	1.5	1 - 5	春ABC	月4	1B410	齋藤 一	最新の批評理論を知る上で必要不可欠な著作をとりあげ輪読する。日本語訳を主に使用するが、必要に応じて原典も参照する。	博士論文執筆を目指す学生向けの授業となる。2019年度より4年おき開講。
02DS148	文学文化論演習(4B)	2	1.5	1 - 5	秋ABC	月4	1B410	齋藤 一	最新の批評理論を知る上で必要不可欠な著作をとりあげ輪読する。日本語訳を主に使用するが、必要に応じて原典も参照する。	博士論文執筆を目指す学生向けの授業となる。2019年度より4年おき開講。
02DS158	文学交流論研究(4B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火3	人社 A201	吉原 ゆかり	文学交流に関わる初歩的な研究論文(英語・日本語)を読む。Readings in academic articles on cultural exchanges (English and Japanese).	英語・日本語を併用する。Classes are given both in English and Japanese. 2019年度より4年おき開講。
02DS168	文学交流論演習(4B)	2	1.5	1 - 5	春ABC	火3	人社 A201	吉原 ゆかり	英語もしくは日本語で書かれた文化テキストの精読。Close and critical readings of literatures written in Japanese and English.	2019年度より4年おき開講。
02DS174	比較文学研究(4)	1	1.5	1 - 5	春ABC	木3	人社 A620	加藤 百合	明治時代の文学状況を比較文学的に捉える。初出(当時のかた)テキストを読む訓練をおこなう。	2019年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS179	比較文学演習(4)	2	1.5	1-5	秋ABC	木3	人社A620	加藤 百合	翻訳などさまざまなかたちで西欧文化を摂取しようとした過程、またその過程において生じた誤解や変容について、演習形式で多面的にとりあげる。	2019年度より4年おき開講。
02DS209	西洋古典学研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	金5	人社A508	秋山 学	ギリシア語文献研究。受講者の研究対象に応じて、ギリシア美術史関係の論文を読む。現代ギリシア語文献もありうる。	2019年度より4年おき開講。
02DS210	西洋古典学研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金5	人社A508	秋山 学	ギリシア語文献研究。前期の継続。現代ギリシア語文献もあり得る。	2019年度より4年おき開講。
02DS219	西洋古典学演習(4A)	2	1.5	1-5	春ABC	金4	人社A508	秋山 学	ラテン語文献およびイタリア語文献研究。受講者の研究対象に応じて、肉筆ラテン語写本をも対象とする。	2019年度より4年おき開講。
02DS220	西洋古典学演習(4B)	2	1.5	1-5	秋ABC	金4	人社A508	秋山 学	ラテン語文献およびイタリア語文献研究(前期の継続)。写本研究も含める。	2019年度より4年おき開講。
02DS229	古典古代学研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	応談	人社A508	秋山 学	セム語(ヘブライ語)文献研究。旧約聖書テキスト講読の予定。	この科目の開講曜時限は「応談」であるので、受講希望者は事前に担当教員と連絡を取ること。2019年度より4年おき開講。
02DS230	古典古代学研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	応談	人社A508	秋山 学	セム語(ヘブライ語)文献研究。旧約聖書テキスト講読の予定(前期の継続)。	この科目の開講曜時限は「応談」であるので、受講希望者は事前に担当教員と連絡を取ること。2019年度より4年おき開講。
02DS239	古典古代学演習(4A)	2	1.5	1-5	春ABC	応談	人社A508	秋山 学	インド古典(プラーナ)文献研究。	この科目の開講曜時限は「応談」であるので、受講希望者は事前に担当教員と連絡を取ること。2019年度より4年おき開講。
02DS240	古典古代学演習(4B)	2	1.5	1-5	秋ABC	応談	人社A508	秋山 学	インド古典(プラーナ)文献研究(前期の継続)。	この科目の開講曜時限は「応談」であるので、受講希望者は事前に担当教員と連絡を取ること。2019年度より4年おき開講。
02DS307	日本文学研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	木5	人社A201	吉森 佳奈子	文献学の基礎を学ぶ。	2019年度より4年おき開講。
02DS308	日本文学研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木5	人社A201	吉森 佳奈子	日本の古典籍を調査し、文献学の基礎的な方法と問題のたて方を身につける。	2019年度より4年おき開講。
02DS317	和漢比較文学研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	火4	人社A620	谷口 孝介	『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本を徹底的に読解し、日本人の『白氏文集』受容の実態を照らし出すことを目指す。	2019年度より4年おき開講。
02DS318	和漢比較文学研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火4	人社A620	谷口 孝介	『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本に基づき、白居易独自の閑適詩の表現を吟味する。	2019年度より4年おき開講。
02DS337	日本古代文学演習(4A)	2	1.5	1-5	春ABC	火2	人社A620	谷口 孝介	『古今和歌集』から「寛平御時后宮歌合」歌を取りあげる。なかでも『新撰万葉集』所収歌について和歌を翻案した漢詩との表現の異同を考察する。あわせて詩的言語の注解方法に習熟するとともに『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の表現形成を探究する。	2019年度より4年おき開講。
02DS338	日本古代文学演習(4B)	2	1.5	1-5	秋ABC	火2	人社A620	谷口 孝介	『古今和歌集』から「寛平御時后宮歌合」歌を取りあげる。なかでも『新撰万葉集』所収歌について和歌を翻案した漢詩との表現の異同を考察する。とくに諸本の異同に注目することで、古今集歌表現の機微を探究する。	2019年度より4年おき開講。
02DS347	日本中古文学研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	木2	人社A201	吉森 佳奈子	『源氏物語』をよむ。文学史と出版文化の問題を意識しながら、本文、注釈に注目して考察する。	2019年度より4年おき開講。
02DS348	日本中古文学研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木2	人社A201	吉森 佳奈子	『源氏物語』注釈史を学ぶ。古注所引の歴史記述に注目して考える。	2019年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS387	日本近世文学研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	月4	人社A620	清登 典子	近世俳諧における季語の用いられ方について、和歌における用法と比較しつつ検討し、明らかにする。今年は秋の季語を取り上げる。受講生の発表と討議とによって授業を進める。	2019年度より4年おき開講。
02DS388	日本近世文学研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	月4	人社A620	清登 典子	近世俳諧の季語の用いられ方について、芭蕉、蕪村等の場合を取り上げて比較検討しつつ明らかにする。受講生の発表と討議とによって授業を進める。	2019年度より4年おき開講。
02DS397	日本近世文学演習(4A)	2	1.5	1-5	春ABC	月5	人社A620	清登 典子	与謝蕪村の新出句集『夜半亭蕪村句集』中に見える新出句のうち、冬の部の句を取り上げて検討を加え、蕪村俳諧における言葉の用い方や技法などの特色について明らかにする。受講生の発表と討議とによって授業を進める。	2019年度より4年おき開講。
02DS398	日本近世文学演習(4B)	2	1.5	1-5	秋ABC	月5	人社A620	清登 典子	与謝蕪村の新出句集『夜半亭蕪村句集』中の新出句のうち、春の句を取り上げて検討を加え、そこに見られる俳諧技法や美意識を明らかにする。受講生の発表と討議とによって授業を進める。	2019年度より4年おき開講。
02DS407	日本近代文学研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	木4	人社A201	馬場 美佳	明治・大正期を中心に、日本近代文学研究の基礎力・応用力を涵養する。	2019年度より4年おき開講。
02DS408	日本近代文学研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木4	人社A201	馬場 美佳	明治・大正期を中心に、日本近代文学研究の基礎力・応用力を涵養する。	2019年度より4年おき開講。
02DS417	日本近代文学演習(4A)	2	1.5	1-5	春ABC	木6	人社B418	馬場 美佳	各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うこととする。作品解釈を通して研究方法および論文のテーマを明確にすることを旨とする。	2019年度より4年おき開講。
02DS418	日本近代文学演習(4B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木6	人社B418	馬場 美佳	各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うこととする。作品解釈を通して研究方法および論文のテーマを明確にすることを旨とする。	2019年度より4年おき開講。
02DS507	イギリス文学史研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	火6	人社A202	佐野 隆弥	初期近代戯曲研究。シェイクスピアの中期祝祭喜劇を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2019年度より4年おき開講。
02DS508	イギリス文学史研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火6	人社A202	佐野 隆弥	初期近代戯曲研究。シェイクスピアの中期祝祭喜劇を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2019年度より4年おき開講。
02DS517	イギリス文学史演習(4A)	2	1.5	1-5	春ABC	水2	人社A617	佐野 隆弥	初期近代英詩研究。エドモンド・スペンサーのThe Faerie Queene第一巻をテキストに、基礎的読解と議論を行う。	2019年度より4年おき開講。
02DS518	イギリス文学史演習(4B)	2	1.5	1-5	秋ABC	水2	人社A617	佐野 隆弥	初期近代英詩研究。エドモンド・スペンサーのThe Faerie Queene第一巻をテキストに、分析的読解と論文作成を行う。	2019年度より4年おき開講。
02DS647	アメリカ文学特殊研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	金5	人社A207	ラフォンテーヌ アンドレ	Film melodrama can be seen as an expressive mode, a genre and an ideological form. In this course, we will discuss melodrama as a culturally situated genre and expressive mode. Melodrama incorporates a variety of stylistics and aesthetic conventions and directors have exploited those for various effects. As it relies heavily on emotions, pathos and sensationalism, melodrama has been criticized as "low brow" and relegated to the "woman's genre". Recent theorists, however, point out melodrama's intertwinement with discourse of gender, race, nationalism and modernity.	2019年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS648	アメリカ文学特殊研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金5	人社A207	ラフォンテーヌ アンドレ	This seminar approaches the writers and filmmakers working in Noir films in Hollywood from the 1930s to the late 1950s and beyond. We will examine the stylistic and thematic preoccupations of the genre, its roots in German Expressionism, as well as the influence of WWII, the Great Depression, and the detective novel. Finally, we will glance at the genre's repercussions beyond Hollywood, notably in French, Italian, and Japanese cinema.	2019年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS652	アメリカ文学特講II	2	1.5	1-5	春ABC	火3	人社B505	宮本 陽一郎	〈スモールタウン、U.S.A〉アメリカのスモール・タウンの表象史をたどる。 アンダーソン、ヘミングウェイ、サロイヤン、チャーヴァー、庄野潤三らの作品をとりあげる。	2019年度より4年おき開講。
02DS707	フランス文学史研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	木4	人社B410	増尾 弘美	19世紀末から20世紀初頭にかけてのフランス音楽界の動向を見極めつつ、ブルーストの作品を読んで考察する。	2019年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS708	フランス文学史研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木4	人社B410	増尾 弘美	19世紀末から20世紀初頭にかけてのフランス音楽界の動向を見極めつつ、ブルーストに関する論文を読んで考察する。	2019年度より4年おき開講。
02DS717	フランス文学研究I(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	水3	人社B409	小川 美登里	フランス文学を中心とするテキストを精読し、分析、批評の能力を養う。	2019年度より4年おき開講。
02DS718	フランス文学研究I(4B)	1	1.5	1-5	春C	集中	人社B409	小川 美登里	フランス文学を中心としたテキストを読解し、同時代の作品や作家の他作品と比較しながら、分析する能力を養う。	2019年度より4年おき開講。
02DS727	フランス文学研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	木3	1B401	増尾 弘美	受講者の研究内容に沿って、作品を熟読し考察する。研究発表も適宜行う。	2019年度より4年おき開講。
02DS728	フランス文学研究II(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木3	1B401	増尾 弘美	受講者の研究内容に沿って、研究書を読み考察する。研究発表も適宜行う。	2019年度より4年おき開講。
02DS737	フランス文学特殊研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	水1	人社B409	小川 美登里	作品読解をとおして、フランス文学と関連するテーマ系(ジェンダーや哲学、思想、芸術、文化など)を導き出し、分析する。	2019年度より4年おき開講。
02DS738	フランス文学特殊研究(4B)	1	1.5	1-5	春C	集中	人社B409	小川 美登里	フランス文学を中心としたテキスト読解をとおして、作品から導き出される諸領域との関連性について考える。	2019年度より4年おき開講。
02DS817	ドイツ文学研究II(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	火4	人社A202	ヘーゼルハウス、ヘラト	"You Must Change Your Life" - Introduction to Peter Sloterdijk's Philosophy of Resiliency	2019年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS818	ドイツ文学研究II(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火4	人社A202	ヘーゼルハウス、ヘラト	Radical Thinking: Peter Sloterdijk's Contribution to Literature and Philosophy	2019年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DS837	ドイツ文学特講(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	月5	人社A513	ヘーゼルハウス、ヘラト	Probleme der Narratologie im 20. Jahrhundert	2019年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS838	ドイツ文学特講(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火3	人社A513	ヘーゼルハウス、ヘラト	Das Abfassen wissenschaftlicher Arbeiten	2019年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS907	中国文学史研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	木4	人社A620	小松 建男	『三国志集解』巻35を読む。	2019年度より4年おき開講。
02DS908	中国文学史研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木4	人社A620	小松 建男	『三国志集解』巻36を読む。	2019年度より4年おき開講。
02DS927	中国文学研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	木5	人社A620	稀代 麻也子	「嵇中散[康]言志」の塵・倫・浜・津・神・陳各韻を読む。	2019年度より4年おき開講。
02DS928	中国文学研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木5	人社A620	稀代 麻也子	「嵇中散[康]言志」の身・真・賈・辛・人・紳各韻を読む。	2019年度より4年おき開講。
02DS947	中国文学特講(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	木6	人社A620	小松 建男, 稀代 麻也子	先行研究に対する批評を軸に、博士論文の方向性を考える。	2019年度より4年おき開講。
02DS948	中国文学特講(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木6	人社A620	小松 建男, 稀代 麻也子	博士論文全体の構成について検討を重ねる。	2019年度より4年おき開講。
02DT107	一般言語学研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	随時		池田 潤, 臼山 利信, 金 仁和, 池田 晋	指導教員による研究指導をふまえて、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行うことにより、自分の研究テーマを一般言語学的視座に位置づける。あわせて研究倫理について理解を深める。 Based on the regular guidance from one's supervisor, the student makes a formal academic presentation in front of faculty members with diverse background so as to contextualize his research topic in general linguistic perspective.	2019年度より4年おき開講。
02DT108	一般言語学研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	随時		池田 潤, 臼山 利信, 金 仁和, 池田 晋	指導教員による研究指導をふまえて、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行うことにより、自分の研究テーマをさらに掘り下げる。あわせて研究倫理について理解を深める。 Based on the regular guidance from one's supervisor, the student makes a formal academic presentation in front of faculty members with diverse background so as to dig into his research topic more deeply.	2019年度より4年おき開講。
02DT117	一般言語学演習(4A)	2	1.5	1-5	春ABC	木6	人社A517	池田 潤	一般言語学に関する論文を演習形式で講読する。We select papers and/or books in general linguistics based on the interests of participants, and read them critically in the seminar-style setting.	2019年度より4年おき開講。 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT118	一般言語学演習(4B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木6	人社A517	池田 潤	一般言語学に関する論文の購読を継続する。 We continue reading the papers and/or books in general linguistics selected based on the interests of participants.	2019年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DT127	一般言語学特講A(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	火6	人社A207	臼山 利信	ロシア語圏諸国の言語状況・言語政策について、国内外の優れた研究成果に基づいて検討・考察する。内容は前年度と異なる。	2019年度より4年おき開講。
02DT128	一般言語学特講A(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火6	人社A207	臼山 利信	ロシア語圏諸国の言語状況・言語政策について、国内外の優れた研究成果に基づいて検討・考察する。内容は前年度と異なる。	2019年度より4年おき開講。
02DT137	一般言語学特講B(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	木2		金 仁和	韓国語における音韻、形態、語彙表現、統語の特徴を考察する。	2019年度より4年おき開講。
02DT138	一般言語学特講B(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木2		金 仁和	思考観点が反映された表現様相を、韓国語を対象とし、調査する。	2019年度より4年おき開講。
02DT177	中国語学演習(4A)	2	1.5	1-5	春ABC	水3	人社B510	池田 晋	中国語の情報構造をテーマとして、基本文献を体系的に読み進め、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2019年度より4年おき開講。
02DT178	中国語学演習(4B)	2	1.5	1-5	秋ABC	水3	人社B510	池田 晋	中国語の情報構造をテーマとして、最新の研究文献を読み進め、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2019年度より4年おき開講。
02DT201	応用言語学基礎論A	1	1.5	1-5	春ABC	水5,6	1B202	一三三 朋子, 澤田 浩子, 杉本 武, 竹沢 幸一, 沼田 善子, 松崎 寛, 石田 尊	応用言語学において基盤となるものの見方や考え方、研究倫理などを、講義を通して深めていく。	
02DT202	応用言語学基礎論B	1	1.5	1-5	秋ABC	随時	1B202	一三三 朋子, 澤田 浩子, 杉本 武, 竹沢 幸一, 沼田 善子, 松崎 寛, 石田 尊	応用言語学において基盤となるものの見方や考え方などを、議論を通して深めていく。	
02DT239	日本語教育学研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	金4	人社A202	松崎 寛	日本語教育学分野の論文講読を通じ、クリティカルに物事を捉える基礎的な力を身につける。	2019年度より4年おき開講。
02DT240	日本語教育学研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金4	人社A202	松崎 寛	日本語教育方法の改善に役立つ論文を取り上げ、方法論上の問題点や、推論の妥当性を検討する。	2019年度より4年おき開講。
02DT249	日本語教育学演習(4A)	2	1.5	1-5	春ABC	木3	人社A201	一三三 朋子	大量のデータを分析する際に必要な統計について概説し、統計を使った論文講読や、統計を使った研究計画について検討する。	2019年度より4年おき開講。
02DT250	日本語教育学演習(4B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木3	人社A201	一三三 朋子	受講者の論文テーマに沿って、研究方法や分析方法について討論し、統計の利用の仕方を検討する。	2019年度より4年おき開講。
02DT259	日本語構造論研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	金2	1C305	杉本 武	記述的研究の立場から現代日本語の格と動詞の分析を行いながら、記述的研究のあるべき姿を考える。	2019年度より4年おき開講。
02DT260	日本語構造論研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金2	1B202	杉本 武	コーパスを用いた言語研究の手法を学び、現代日本語の格、動詞等の分析を行う。	2019年度より4年おき開講。
02DT269	日本語構造論演習(4A)	2	1.5	1-5	春ABC	木5	1B203	沼田 善子	現代日本語の主語省略、文末詞等に関わる諸現象について「主観性」の観点から考察する。考察は他言語との比較対照も交え日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2019年度より4年おき開講。
02DT270	日本語構造論演習(4B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木5	1B203	沼田 善子	現代日本語の主語省略、文末詞等に関わる諸現象について、受講者の発表とそれに対する討論を通し、「主観性」の観点から考察する。考察は他言語との比較対照も交え、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2019年度より4年おき開講。
02DT279	対照言語学研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	火5	1B304	澤田 浩子	対照言語学的視点から、文法・談話に関する現象を取り上げ、記述・分析を行う。	2019年度より4年おき開講。
02DT280	対照言語学研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火5	1B304	澤田 浩子	文法・談話の両領域に関する現象の記述をもとに、言語行動、発話行為について考察を行う。	2019年度より4年おき開講。
02DT289	対照言語学演習(4A)	2	1.5	1-5	春ABC	月5	1B301	竹沢 幸一	統語論に基づく言語間の比較・対照の方法を学ぶ。	2019年度より4年おき開講。
02DT290	対照言語学演習(4B)	2	1.5	1-5	秋ABC	月5	1B301	竹沢 幸一	日本語を中心に言語間の比較・対照を行いながら、人間言語の文法の個別性と普遍性について記述的及び理論的に考察を行う。	2019年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT407	日本語音韻研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	火5	人社A620	那須 昭夫	日本語の音声・音韻に関する近年の論考を講読し、分析・考察の手法について理解を深めつつ、日本語音韻研究の新たな課題を探る。	2019年度より4年おき開講。
02DT408	日本語音韻研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火5	人社A620	那須 昭夫	音韻理論に関する近年の論考を講読し、理論的考察の基盤となる知見について理解を深めつつ、日本語音韻研究の新たな課題を探る。	2019年度より4年おき開講。
02DT417	日本語文法研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	金5	人社A620	橋本 修, 矢澤 真人	日本語意味論・語用論に関する動向を検討し、いくつかのトピックについて論考の検討・解説を行う。可能な範囲で他言語との対照も視野に含める。	2019年度より4年おき開講。
02DT418	日本語文法研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金5	人社A620	橋本 修, 矢澤 真人	日本語意味論・語用論における近年の論考を、方言・古典語等も視野に入れながら検討する。導入としては青木博史編2011所収の論文を検討する予定。	2019年度より4年おき開講。
02DT437	日本語史料研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	火4	人社A207	大倉 浩	狂言諸台本の日本語史料としての位置づけを考える。その手がかりとして享保15年刊『狂言記拾遺』を読む。	2019年度より4年おき開講。
02DT438	日本語史料研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火4	人社A207	大倉 浩	残された諸流の狂言台本を『狂言記拾遺』と用語を中心に比較する。また、現在の舞台の映像も参考に、狂言用語の変容について考える。	2019年度より4年おき開講。
02DT447	現代日本語研究(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	金4	人社A620	矢澤 真人, 橋本 修	現代日本語に見られる現象を題材に観察し分析していくとともに、文法研究と語彙研究との関わりについて検討していく。	2019年度より4年おき開講。
02DT448	現代日本語研究(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金4	人社A620	矢澤 真人, 橋本 修	現代日本語に見られる種々の言語現象について分析するとともに、文法情報と語彙情報の辞書における記述について検討していく。	2019年度より4年おき開講。
02DT482	日本語学演習I(2A)	2	1.0	1-5	春ABC	集中		大倉 浩, 田川 拓海, 那須 昭夫, 橋本 修, 矢澤 真人	隣接領域との関わりを意識しながら、日本語研究の方法について検討を深める。受講者の研究発表とそれについての討論を中心に進める。あわせて研究倫理について理解を深める。	
02DT483	日本語学演習I(2B)	2	1.0	1-5	秋ABC	集中		大倉 浩, 田川 拓海, 那須 昭夫, 橋本 修, 矢澤 真人	日本語研究の基本的な理念と、実用的な側面の双方について検討する。受講者の研究発表とそれについての討論を中心に進める。あわせて研究倫理について理解を深める。	
02DT507	認知意味論(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	月3	1B204	和田 尚明, 廣瀬 幸生	言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、言語の意味と認知に焦点をあてる。	2019年度より4年おき開講。
02DT508	認知意味論(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	月3	1B204	和田 尚明, 廣瀬 幸生	言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、構文の形式と機能に焦点をあてる。	2019年度より4年おき開講。
02DT517	生成統語論(4A)	1	1.5	1-5	春ABC	月4	1B204	加賀 信広, 島田 雅晴	英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、虚辞要素に関わる問題に焦点をあてる。	2019年度より4年おき開講。
02DT518	生成統語論(4B)	1	1.5	1-5	秋ABC	月4	1B204	加賀 信広, 島田 雅晴	英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、adpositionに関わる問題に焦点をあてる。	2019年度より4年おき開講。
02DT527	英語意味論演習(4A)	2	1.5	1-5	春ABC	木4	1C505	廣瀬 幸生, 和田 尚明, 金谷 優	認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、語用論・機能論の論文を中心に行なう。	2019年度より4年おき開講。
02DT528	英語意味論演習(4B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木4	1C505	廣瀬 幸生, 和田 尚明, 金谷 優	認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、認知言語学の論文を中心に行なう。	2019年度より4年おき開講。
02DT537	英語統語論演習(4A)	2	1.5	1-5	春ABC	木5	1C505	島田 雅晴, 加賀 信広	生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、統語論と形態論の関係に関する論文を中心に行なう。	2019年度より4年おき開講。
02DT538	英語統語論演習(4B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木5	1C505	島田 雅晴, 加賀 信広	生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、インターフェイスに関する論文を中心に行なう。	2019年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT547	英語学特講(4A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	木3	1C404	金谷 優	英語学の文献を教材として用いながら、修士論文執筆前の学生が英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、表現力・発信力の充実にを図る。	2019年度より4年おき開講。
02DT548	英語学特講(4B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	木3	1C404	金谷 優	英語学の文献を教材として用いながら、修士論文執筆前の段階の学生が英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、読解力・言語分析力の充実にを図る。	2019年度より4年おき開講。
02DT607	フランス語学研究(4A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	月5	人社B511	青木 三郎	現代フランス語研究の意義を明確にし、独自性のあるフランス語研究とは何かを事例を挙げながら理論的に考察する。日本語とフランス語使用	2019年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT608	フランス語学研究(4B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	月5	人社B511	青木 三郎	現代フランス語文法研究の最新成果を視野に入れて、統語論・意味論・語用論の関係を捉える。日本語とフランス語使用	2019年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT617	フランス語学演習(4A)	2	1.5	1 - 5	春ABC	月6	人社B511	青木 三郎	発話理論の基礎を紹介し、具体的な発話マーカ어의分析を通じて、言語主観性について理論的・実証的な分析を行う。日本語とフランス語使用	2019年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT618	フランス語学演習(4B)	2	1.5	1 - 5	秋ABC	月6	人社B511	青木 三郎	発話理論に基づき、具体的な発話マーカ어의分析を通じて、発話間の連絡に関するメカニズムについて分析する。日本語とフランス語使用	2019年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT707	ドイツ語学研究(4A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	金4	人社B505	大矢 俊明	関連文献を読みながら、現代ドイツ語における統語論を考察する。	2019年度より4年おき開講。
02DT708	ドイツ語学研究(4B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	金4	人社B505	大矢 俊明	関連文献を読みながら、現代ドイツ語における統語論と情報構造の関係について考察する。	2019年度より4年おき開講。
02DT727	ドイツ語意味論(4A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	火2	人社A610	伊藤 眞	対照言語学的観点からドイツ語と日本語の語彙をさまざまな角度から比較する。あわせてドイツ語文法についても知識を深める。	2019年度より4年おき開講。
02DT728	ドイツ語意味論(4B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火2	人社A610	伊藤 眞	対照言語学的観点からドイツ語と日本語の語彙をさまざまな角度から比較し、その共通点ならびに相違点を探る。あわせて文献精読能力の向上を図る。	2019年度より4年おき開講。
02DT737	ドイツ語文法論(4A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	金3	人社B505	大矢 俊明	英語や日本語と比較しながら、現代ドイツ語の統語論を考察する。	2019年度より4年おき開講。
02DT738	ドイツ語文法論(4B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	金3	人社B505	大矢 俊明	関連文献を精読しながら、現代ドイツ語における統語論と情報構造の関連を考察する。	2019年度より4年おき開講。
02DT747	ドイツ語史研究(4A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	水3	人社A610	伊藤 眞	ドイツ語で書かれた専門文献を精読しながら、文献精読能力の向上を図る。	2019年度より4年おき開講。
02DT748	ドイツ語史研究(4B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	水3	人社A610	伊藤 眞	ドイツ語で書かれた専門文献を精読する。教壇に立つことを想定した高度な文法知識の習得にも力を入れる。	2019年度より4年おき開講。
02DT804	形態論特講(4)	1	1.5	1 - 5	春ABC	月4	1B304	田川 拓海	屈折形態論・派生形態論の研究における主要な理論・モデルや概念がどのような言語現象の分析において問題になるのか具体的に検討する。英語・日本語を中心に様々な言語を取り上げる。	2019年度より4年おき開講。
02DT809	文法論特講(4)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火6	人社A201	石田 尊	現代日本語の主語や主題、叙述関係に関するいくつかの問題を検討していく。取り上げた問題に対する受講者の分析を提示してもらう場合がある。	2019年度より4年おき開講。